

当院で出産される方へ

「妊娠・分娩経過が産後のうつに及ぼす影響」 ～エジンバラ産後うつ病自己評価票（EPDS）を用いた症例対照研究～ に関する臨床研究について

研究機関：県立広島大学 助産学専攻科

調査場所：神戸市立西神戸医療センター 周産期センター

研究責任者：金川 景子（県立広島大学 助産学専攻科 講師）

研究分担者：駒井 江里（神戸市立西神戸医療センター 師長 助産師）

鈴木 美絵（神戸市立西神戸医療センター 主任 助産師）

このたび、神戸市立西神戸医療センター周産期センターでは、出産をされた方の診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる新たな負担は一切ありません。また、プライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当助産師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、分娩後 1 か月以内のエジンバラ産後うつ病自己評価票（EPDS）の結果を用いて、妊娠・分娩経過との関連要因を明らかにすることです。

わが国における母子保健を取り巻く状況は、少子化の進行、晩婚化・晩産化と未婚率の上昇、核家族化や育児の孤独化等が深刻な問題となっています。できるだけ安心して子どもを産み健やかに育てるために、「妊娠期から産後までの切れ目のない支援」を掲げ、産後うつ病をはじめとする周産期メンタルヘルスは、重要な課題のひとつです。しかし、妊娠経過および分娩時の状況が、産後うつ病とどのように関連があるかは明らかにされていません。

本研究成果によって産後うつ病のリスク因子を解析し、妊産婦の精神的支援に役立てることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023 年 4 月～2026 年 3 月の間に、神戸市立西神戸医療センターにおいて出産をされた方を対象とします。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日～5 年間（実施許可日より西暦 2028 年 3 月 31 日まで）

3)研究方法

カルテより、データを収集いたします。

4)使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

エジンバラ産後うつ病自己評価票 (EPDS)

◇ 研究に使用する情報

妊娠期：匿名した ID・年齢・分娩歴・非妊時 BMI・不妊治療の有無・妊娠初期と中期の貧血採血結果と鉄剤内服の有無・妊娠中の体重増加率・妊娠中の EPDS の点数

分娩期：分娩週数・分娩様式・分娩所要時間・分娩時出血量・会陰裂傷の程度・母体搬送の有無・誘発または促進分娩の有無・麻酔分娩の有無

産褥期：貧血 (Hb・Ht) の採血結果 (経膈分娩は産褥 4 日目、帝王切開は産褥 6 日目)・体重・血圧値、退院時と 2 週間健診時、1 か月健診時の EPDS、新生児の情報は、出生体重・アプガールスコア・NICU 入院の有無

5)試料・情報の保存

収集されたデータは研究責任者：金川景子の責任下に保存されます。保存期間は本研究終了 (あるいは中止) 後 3 年間とします。

6)研究計画書の開示

開示をご希望される方は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

7)研究成果の取扱い

ご参加頂いた患者さんの個人情報がわからないようにした上で、学術論文などの公表に研究責任者、研究分担者および研究協力者が行います。

8)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

研究責任者：県立広島大学 助産学専攻科 金川 景子

お問い合わせ：〒723-0053 広島県三原市学園町 1-1

E-Mail：k-kanagawa@pu-hiroshima.ac.jp

TEL：0848-60-1174 (直通)

研究分担者：神戸市立西神戸医療センター 9 階東病棟 師長 駒井 江里

お問い合わせ：TEL：078-997-2200 (代表)